



DOCOMO TEAM DANDELION RACING

Team Release

決勝レポート

2020/12/5 Rd-5 鈴鹿サーキット

天候：晴れ 気温：16°C 出走台数：20台

2020年後半戦 第5戦及び第6戦 鈴鹿サーキットの1戦目は、セーフティーカーが度々導入される荒れた決勝戦となった。

2周のフォーメーションラップに向かった全車だったが、このフォーメーションラップ中にストップ車両が発生。回収のためにさらに2周のフォーメーションラップが追加され、28周のレースとなる。ポールポジションスタートの山本選手と3番手スタートの福住選手は、共にしっかりとスタートを決めて1-2態勢でオープニングラップを周回。だが、その後ろではコースオフ車両が発生し、セーフティーカーが導入される。6周目にレースが再開されると、山本選手はファステストラップを更新しながら後続を引き離す。チームはピットストップウィンドウの開く10周目、福住選手にピットイン指示したその時、福住選手にトラブルが発生し突如スローダウン。ピットに戻ることはできたが、そのままリタイアとなってしまった。

山本選手は、18周を終えたところでピットイン、タイヤ交換を済ませて首位キープでコースへ戻る。その直後に130Rでクラッシュが発生し、2度目のセーフティーカーが導入される。レースは23周目にリストート。山本選手はレースをコントロールし首位を維持するが、今度は1コーナーで多重クラッシュが発生し、3度目のセーフティーカーが導入された。レースが再開されたのは、残り2周となった27周目。山本選手は2周の超スプリントレースを危なげなく制し、ポールto ウィンの完全勝利でレースを終えた。

5：山本選手 1位

荒れたレースでしたが、最後まで集中してしっかりと走り切ることが出来ました。チームが頑張っていい車と戦略で支えてくれました。本当に感謝しています。

残念なのは、福住選手のリタイアです。ワンツーフィニッシュしたかったし、できる力もあったと思います。明日はまた明日のレースが展開されると思いますので、状況に合わせて集中して頑張ります。

6：福住選手 リタイア

山本選手とワンツー態勢で順調に走行していました。レースの混乱もしっかりと対応して戦略通りに進めていましたが、ギア制御系のトラブルでリタイアとなってしまいました。非常に悔しいですし、チーム初のワンツーフィニッシュやチームタイトルを考えても残念な結果です。ただ、好調なのは間違いないですし、山本選手との情報共有もして、明日の第6戦は僕が優勝できるよう、気持ちも切り替えて臨みます。